

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年7月1日

2003年6月29日現在：

6月29日に終わる週では、全州を高温（95～101度F）・乾燥気象が覆い、小麦に取り有効な降水は殆ど無かった。強風が乾燥気象に加わり、急激に表土の水分を減少させた。ウイラメット盆地に於いても高温（最高気温：100度F）・乾燥気象であった。小麦主産地区である北中央地区（NC）の平原高地では、高温・乾燥の為冬小麦の低単位収量の低下が心配された。1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日（前週6.7日）であった。

6月29日現在、冬小麦は全て登熟後期に在り、Sherman郡の一部にて収穫が開始された。冬小麦は急激に枯塾しているが、春小麦は予想以上に作柄を保った。州全体として冬小麦の作柄は前週より更に悪化した。北中央地区のUmatilla郡及びMorrow郡に於いても土壌の薄い地区にコンバインが入りだした。収穫最盛期は7月4日頃と見込まれた。Sherman郡、Union郡の冬小麦は、6月中旬からの高温・乾燥気象の為単位収量を下げると予想された。

春小麦は90%の圃場で出穂した。これからの降雨も単位を保つ為有効である。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	14	42	43	1
Subsoil (%)	19	34	46	1

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Spring wheat Headed (%)	90	80	-	-
Winter wheat Harvested (%)	0	0	0	0

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	6	25	44	23	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

6月1日付け農務省発表の冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
Oregon	710	940	41.0	53.0	53.0	29,110	49,820

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃：E-Mail ogawa.max@omicnet.com

以上